

No.
04

ELPA Vision

Photo by Toshiaki Nanba

First Things First

～高校卒業までに中学英語の定着を！～

NPO 法人英語運用能力評価協会

理事長 金谷 憲（東京学芸大学名誉教授）

「英語の基礎力とは」＜特別座談会＞

＜参加者＞神白哲史：専修大学

白倉美里：東京学芸大学

日臺滋之：玉川大学

白戸治久：英語運用能力評価協会

英語の4技能を測定する外部試験比較表

特定非営利活動法人（NPO）

ELPA
英語運用能力評価協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-3-4 大江ビル1階

TEL：03-3230-0571 FAX：03-3230-0572

<http://npo-elpa.org> elpa@english-assessment.org

4技能型
対応

英語の土台づくりの新提案

聞く・話す・書く

英語の語順トレーニング Level 2

<2017年10月刊行予定>

徹底したリスニング、音読、ディクテーションのくり返して、文のしくみを理解する
監修 飯野厚 (法政大学教授)

Speak
話す

Write
書く



Listen
聞く

発音トレーニング
プログラム付き

教師用
小テスト付き
全25回のテストで、
定着度合いを測定!

Level1

Level2

中学校学習内容

高校1年

聞く・話す・書く「英語の語順トレーニング」Level 2

- ① 本冊 (B5版 56ページ Lesson20回分+Mix Training 5回分)
- ② 解答・解説書
- ③ Check Test + 確認テスト (教師用/PDFテキストファイル付)
- ④ 教師用音声 CD×3枚 (本冊用 CD×2枚、Check Test+確認テスト用 CD×1枚)
- ⑤ 音声認識・ディクテーションソフト (Windows用/本冊40冊以上採用ごとに1ライセンス/1年間有効)

定価 864円(800円+税)

First Things First

～高校卒業までに中学英語の定着を！～

NPO 法人英語運用能力評価協会

理事長 金谷 憲（東京学芸大学名誉教授）



英語教育の目的は、生徒に英語コミュニケーション能力をつけさせることである。時代が変わっても、このことに変わりはない。違いがあるとすれば、どこまでの能力を身につけさせることが出来るかである。授業時数、授業の工夫、適切な教材選択などによって、違いは生じる。より高い能力が身につけばそれに越したことはない。

その際、一番大切なのは基礎力である。高校卒業までに、ほとんどの生徒に英語の基礎力を身につけさせることが出来れば、学校英語教育は十分にその役割を果たしていると言える。

では、基礎力とは何かという議論になるのだが、その議論に時間を浪費するのは賢明なことではない。単純に「中学英語が使いこなせる力」としておいて、その実現に努力を傾注すべきである。

中学英語の定着を第一にすると言うと、英語教育の目標としてあまりに低いと感じる人も多い。しかし、中学英語が使いこなせるようにするとするとそんなに易しいことではない。

今年（2017年）2月に刊行された Sherpa (Senior High English Reform Project ALC) 調査報告（『高校生は中学英語を使いこなせるか？』アルク選書）によれば、調査対象のほとんどの高校生は、中学英語が十分に聞き取れない、書き取れない、普通のスピードで読解出来ないなど、定着度合いは非常に低い。

一方、2016年に刊行されたアルク教育総合研究所のデータ（『中学英文法で大学入試は8割解ける！』

アルク選書）によると、大学入試問題のほとんどは中学英文法の組み合わせによって出来ており、高校で新たに導入される文法事項が身につけていないと出来ない問題は極わずか（10%強）である。

この2つのことを考え合わせれば、高校卒業までに、中学英語の定着を目指すことが、日本人の英語力の大きな底上げに通じることは明らかである。

このことを、特に高校の先生方にご理解頂きたい。高校では、とすると生徒の定着度合いを無視して、内容的に難しい教材を選びがちである。極端な場合、日本語訳を読んでも理解できないような英文を「読ませている」ような学校は少なくない。こうしたことは、直ぐ改めて、適切な教材を選び、生徒の基礎力をつけることを優先すべきだろう。まず、中学英語の定着、それが済んだら高校英語の導入と定着へと進むのが良い。First things first. 初級を飛ばして上級へは進めない。

もちろん、基礎力以上の力が必要になる人はいる。しかし、基礎が出来ていれば、それ以上のことは、個々の自助努力、あるいは学校外や大学などで学習することが出来る。

ELPAも、高校生が英語の基礎力を身につけるためのサポートを積極的に行いたい。手始めに、基礎の基礎は英語の語順であると考えて、昨年、『語順トレーニング』を出版した。今年は、語順トレーニングの続刊も刊行予定である。期待していただきたい。

「英語の基礎力とは」

〈特別座談会〉

〈参加者〉神白哲史：専修大学
白倉美里：東京学芸大学
日臺滋之：玉川大学
白戸治久：英語運用能力評価協会

白戸：アクティブラーニングをやるにしても四技能をやるにしても、とにかく英語の基礎基本がなければダメではないか、ということで、今日は「英語の基礎基本はどうあるべきか」について語彙の知識や運用能力などの観点からお話し頂きたいと思います。

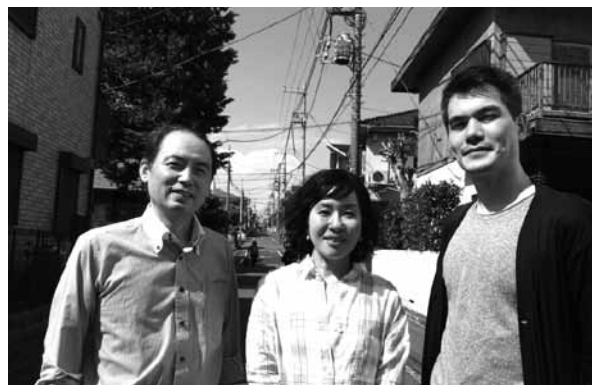
【基礎語彙力について】

神白：中学校や高校の英語教員は現状として語彙力をどう思うか、というふうに考えているのか。私は未だに語彙力＝単語力と考えているような気がしています。語彙を「広げる」ことには熱心なんですけど、「深める」ことにどうも向いていないですね。

白倉：高校でも中学でも、語彙力と言われたときに先生方がイメージするのは単語の意味をどれだけたくさん知っているか、ということだと思います。もう少し幅広く語彙力を捉えようと、語彙に含まれている意味だけではなくて、統語的な情報、その動詞の後ろに目的語をとるかとか、どういう前置詞や副詞とよく一緒に使われるか“コロケーション”のこととか、そういうもの、もろもろ含めたものが語彙力だというイメージを持っている人もいます。

神白：「何で単語力から英語教員は離れられないのか」ということに非常に僕は疑問を感じます。そして、学習者もそこから離れられない。

白倉：現場の先生方の頭にあるのは大学受験だと思います。何で単語力にいくのか、というのは結構わかりやすい話だと私は思っていて、例えば長文問題を読むときに、8割単語が分かっていたら、おそらく文章の概要は分かるでしょう。つまり意味を知っている単語が多いということが最大の武器になるのです。それ以外の「どれだけ使いこなせるか」というのが役に立つのはどこなのか、となったときにその



発想は多分先生たちにはないので、受験生たちにも多分ないことになるでしょう。さっき「広さ」と「深さ」という話がありましたけど、狭い、少ない語彙量を深めることが果たしてできるのか、と私は思います。take という単語を、多義語だから、take のいろんな意味を知ろうと思ったときに、他の語彙を知っていないと、多分 take の使いこなしてできないじゃないですか。だからこの、「広さ」にいつてしまうのは何故なのか、なんで「深さ」にいかないのか、という話はある意味当然のことで、対立軸で捉える話ではなくて、やっぱりある程度の語の意味を知っていないと、そもそも論として、その言葉を使って何かを理解したりすることもできないのではと思います。そして、ある程度意味を知っている単語が多くて、はじめて単語の使い回しができるということになるのだと思います。

【基礎力としての語彙ネットワークの構築について】

神白：単語の中心義、コアから離れられなくなってしまうのは、英語の苦手な子たちに多いのではないかと思います。

日臺：そうですね。例えば I have a cat. という表現。ネコを「飼っている」という発想にならず、どんな文脈でもネコを「持っている」と解釈してしまうんです。

神白：だから英語で日記を書くときなどに、特定の単語を探してきて、とんでもなく難しい表現を使ったりすることは良くありますね。英語学習の初期なので仕方のないことではありますが、ある種、語彙には「深さ」があるんだってことを教わっていないことの弊害ではないでしょうか。語彙ネットワークを構築するというアプローチを考えないで、英単語とそれに対応する訳を一对一で与えるだけではそ

れが構築されないと思うんですね。私は今、中高でやっていることはどちらかというと欲張り気味というふうに思っていて、厳選した語彙を深めていくという発想はできないのかなと考えています。

日臺：中学校の教科書では、学年が上がるごとに教科書の後ろの mini dictionary の量は増えていくんですね。その中にコロケーションも入ってきます。だけど、先生によっては、「一つの単語には色々な意味や用法があるんだよ」と語彙のネットワーク作りを生徒に気づかせる指導をおろそかにしてしまう人もいます。だから、生徒がいつまでたってもネットワークの存在に気づかない。ネットワークを作るための語彙指導をやらないと、生徒は一つの単語につき一つの意味だと思ってしまいます。

白倉：英語が習熟するというのは、知識が関連付けられていき、言語が体系化され、ネットワークが構築されるということだと思います。そう考えると、中学生・高校生で語彙のネットワーク化が進んでいないというのは、まだ英語力がそんなに習熟してないからではないでしょうか。ネットワーク作りを自分でできるような力が英語学習の基礎になると思います。だから、例えば語彙の場合、「広げる」ことばかりが今注視されているけれど、学んだものをちゃんと使いこなせるようなところまで持っていったらあげべきだと思います。

【教科書の提示する基礎知識を使いこなす力について】

日臺：教科書作りでも大切だと思うんです。基礎ってなんだって。基礎を形にすれば教科書になるんじゃないかって。だから教科書を見ると、基礎のところは基礎だと考えられている単語や英文がちゃんと配列してあります。しかし、表面の形はそうなんですけど、目に見えない部分の基礎ってというのがあります。つまりその単語の使い方、その英文の主語はどれか、動詞はどれかも英文解釈の基礎です。高校の場合は教科書の差がすごく広いけど、中学校の場合は教科書を見ると何が基礎となる単語や文法なのか、一目瞭然ですね。だけどそれは目に見える部分であって、目に見えない部分の基礎って認識するのが結構難しいのかなと思います。

白倉：それって言い換えると、中学校の教科書に載っている単語とか文法の知識を「使いこなせる力」ということですか。

日臺：そう思いますね。

神白：その「使いこなせる力」のためにどうするべきか、現状では優先順位ができていなくて、だから目の前の教科書をさらりとやることしかできていないと思います。

白倉：あとは「使いこなせる力」を具体的にイメージするのが難しいのかもしれない。具体的に表すとしたら、例えば中学校3年分の教科書に載っているような語彙・文法等を基礎知識と呼び、そのレベルの英語を自在に聞いたり読んだり話したり書いたりできる力、を「使いこなせる力」と言えると思います。

白戸：知識を「使いこなせる力」を身につけ、語彙の深さが深まっていけば、内容の深さにも繋がっていくのではないかということですね。語彙がどんどん深まった上で、内容と言語がどこかで一致すれば発信もできるのではないのでしょうか。

白倉：日本人学習者に結構少ないと思うのは、簡単な英語で大量にペラペラ話せるとか、間違いが多くても何か勢いのある文章が書けるみたいな人ですね。日本で学校教育を受けた人では少ないですね。正しく書けるなって子は結構います。

日臺：その前に語彙がないとね。でも、マララさんのスピーチを聞いていても、簡単な言葉で意味の深いことを言っていますね。先行研究でも、語彙がなければコミュニケーションが成立しないと言われてるし、それを改めて中心にすえて、「じゃあどのような語彙の何を知っていればコミュニケーションが成立するのか」をちょっとでもつかめればいいと思いますよね。

神白：後は、学習者本人の実感で基礎体力みたいなものがついたと思えばいいのではないかと思います。我々が大学入試のときの「足きり」のように関門を突破できるかどうか、試験をして80点とれるかどうか、そういうことではなくて、英語を眺めたときに目がチカチカしないとか、そういうレベルから基礎力っていうものがなんとなくあって、それを拾ってあげるというもの、基礎を考える上で重要だと思います。形に見えなくても、学習者が昨日より英語がすらすらでてくるようになったと実感することが大事ですね。

2016年5月10日
ELPA 会議室にて

英語の4技能を測定する外部試験比較表 2017年5月

試験名	実施団体	主な受験者層	目的・出題意図	国際通用性 ①実施国数 ②主な活用地域 ③海外団体との連携	実施方法 試験時間	年間 実施回数
Cambridge English (ケンブリッジ英検)	テスト作成：ケンブリッジ大学 英語検定機構 日本事務局：基盤学力総合研 究所（Z会グループ）	中学生 高校生 大学生 社会人	英語圏における日常生活に必要と される実践的な英語力があるかを 評価する	①世界130カ国 ②英国、欧州、オーストラ リア、ニュージーランド ③CaMLA（米国ミシガン大 学）、OET（豪州）等	LRW: 紙/CBT S: ペア面接 [試験時間] PET: 2時間12分 KET: 1時間50分	2-3回
実用英語技能 検定	日本英語検定協会	小学生 中学生 高校生 大学生 社会人	英語圏における社会生活（日常・ アカデミック・ビジネス）に必 要な英語を理解し、使うことが できるかを評価する	①約50カ国 ②アメリカ、オーストラ リア、カナダ等※留学の際の 語学力証明として認定 ③アジア6地域7団体および CRELLA（英国）	LR: 紙/CBT (W): 紙 (S): 面接/CBT [試験時間] 2級: 1時間47分 準2級: 1時間36分	3回
GTEC CBT	ベネッセコーポレーション Berlitz Corporation ELS Educational Services ※一般財団法人 進学基準研究 機構(CEES)と共催	高校生 大学生	英語をしようする大学で機能で きる（アカデミックな）英語コ ミュニケーション力を測る	②北米（ELS Educational Services）	LSRW: CBT [試験時間] 2時間55分	3回 (H27)
GTEC for STUDENTS	ベネッセコーポレーション Berlitz Corporation ELS Educational Services	中学生 高校生	英語によるジェネラルな状況に けるコミュニケーション能力を 測る		LRW: 紙 S: タブレット端末 [試験時間] 1時間55分	2回
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、 ケンブリッジ大学英語検定機 構、日本英語検定協会 等	高校生 大学生 社会人	英語を用いたコミュニケーショ ンが必要な場所において、就学・ 就業するために必要な英語力 があるかを評価する	①140カ国以上 ②EU諸国、オーストラリア、 カナダ、ニュージーランド、 アメリカ合衆国等	LRW: 紙 S: 面接 [試験時間] 約2時間59分	約40回
TEAP	日本英語検定協会	高校 2年生 以上	EFL環境の大学で行われる授業 等で行う言語活動において英語 を理解したり、考えを伝えたり することができるかを評価する	③CRELLA（英国）	LRW: 紙 S: 面接 ※2016年度よりTEAP CBT実施開始予定 [試験時間] 3時間20分	3回
TOEFL (TOEFL iBT)	テスト作成：ETS 日本事務局：CIEE	高校生 大学生 社会人	高等教育機関において英語を用 いて学業を修めるのに必要な英 語力を有しているかを測るこ とを目的とする	①130カ国以上 ②英語圏（北米、オーストラ リア、ニュージーランド等）、 非英語圏（ドイツ、オラン ダ、トルコ、韓国等） ※入学選考基準に活用	LSRW: CBT [試験時間] 約4時間	40-45回
TOEFL Junior Comprehensive	テスト作成：ETS 日本事務局：GC&T	中学生 高校生 大学生	英語を母国語としない中高生の 英語運用能力を世界標準で評 価する	①8カ国（2技能については 既に50カ国以上）	LSRW: CBT [試験時間] 2時間14分	2-3回
TOEIC	テスト作成：ETS 日本事務局：IBC	高校生 大学生 社会人	一般からビジネスまで幅広い英 語によるコミュニケーション能 力（「聞く、読む」能力）を測 定する。	①150カ国	LR: 紙 [試験時間] 2時間	10回
TOEIC S&W	テスト作成：ETS 日本事務局：IBC	高校生 大学生 社会人	国際的な職場環境において、効 果的に英語でコミュニケーショ ンするために必要な「話す、書 く」能力を測定する。	①150カ国	SW: CBT [試験時間] 1時間20分	24回

※1 [英語4技能試験情報サイト]内「資格・検定試験比較一覧表」(<http://4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison.html>) ならびに「主な英語の資格・検定試験に関する情報一覧 (2016年5月31日現在)」<http://4skills.jp/qualification/pdf/20160531.pdf>

※2 CEFRについては：CEFRは外国語の熟達度の参照基準として作られたものであり、元来はある特定のテストの評定に用いたり、異なる言語テストを比較検討するために作られた基準ではない。このことを踏まえ、ELPAの資料ではCEFRと各言語テストとの関連を出さないこととする。

英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用について ※1

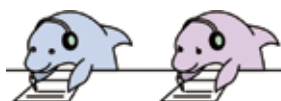
会場数	成績表示方法	評価基準	受験料	備考
全国10会場	KET/PET/FCE/CAE /CPE CEFR、合否、スコア（80-230）、グレード	<読む> コンピュータ採点 <聞く> 記述問題以外はコンピュータ採点 <話す・書く> ケンブリッジの評価基準の研修を受けた採点者が評価。 <採点基準> オンラインにて公表情報あり	PET 11,880円- KET 9,720円-	
全国約17,400会場（準会場、離島等を含む）	1級-5級 合否による表示 H27よりスコア・バンド併記	<読む・聞く> コンピュータ採点 <話す・書く> 採点者が評価基準に基づいて評価 <評価基準> http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/criteria/	・準1級： 6,900円 ・2級： 5,800円 ・準2級： 5,200円	2016年度より 2級にライティング、4級・5級にスピーキングを導入
全国57会場（H26実績）	0-1400点	<読む・聞く> コンピュータ採点 <話す・書く> 2名の採点者が評価基準に基づいて評価	9,720円	
学校会場	0-810点	<読む・聞く> コンピュータ採点 <話す・書く> 2名の採点者が評価基準に基づいて評価 <ライティングの採点基準> http://gtec.for-students.jp/product/pro_student.htm#writing	2,880円 ※Speaking含む場合：4,640円	スピーキング受験はオプション
公開会場：全国18都市 特別会場：全国約50の主要大学・教育機関	1.0-9.0 (0.5刻み)	<読む・聞く> ・研修を受けた採点者による採点・各40項目の正解数によってバンドスコアが決定 <話す・書く> 資格を持ち、研修をうけた試験官1-4名により評価基準に基づいて評価 <評価基準> http://www.ielts.org/researchers/score_processing_and_reporting.aspx	25,380円	
全国11都市約35会場※今後拡大予定	80-400点	<読む・聞く> コンピュータ採点 <話す・書く> 複数名の採点者が評価基準に基づいて評価 <評価基準：書く> http://www.eiken.or.jp/teap/construct/rating_crit.html <評価基準：話す> http://www.eiken.or.jp/teap/construct/sp_rating_crit.html	4技能受験： 15,000円	2技能（リスニング・リーディング）あるいは3技能（リスニング・リーディング・ライティング）でも受験可能
約90会場	0-120点	<読む・聞く> コンピュータによる自動採点 <話す> 複数の採点者が採点基準に基づいて評価。採点基準： https://www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_speaking_rubrics.pdf <書く> 採点者とコンピュータによる自動採点。採点基準： https://www.ets.org/s/toefl/pdf/toefl_writing_rubrics.pdf	230USドル	受験にはパスポートが必要
全国約170会場	0-352点	<読む/聞く> コンピュータ採点 <話す/書く> Online Network for Evaluation (ONE)に基づき、所定のトレーニングを終了した複数の査定員（レイター）によって採点	9,500円	
最大251会場	10-990点	<読む・聞く> コンピュータ採点 常に評価基準を一定に保つためにスコアの同一化(Equating)と呼ばれる統計処理を行い算出	5,725円	
最大43会場	0-400点	<話す・書く> ルーブリックに基づき、採点の訓練を受けた複数の評価者が採点。ETSの統計の専門家がすべての採点結果を分析・検証 評価基準： http://www.toEIC.or.jp/library/toEIC_data/sw/sampletest/pdf/sw_handbook.pdf	10,260円	

ELPA 2017 年度英語教育セミナー

特定非営利活動法人 (NPO)

ELPA

英語運用能力評価協会



『基礎英語力定着を目指して ～授業改善の取り組み～』

実施スケジュール

	日時	会場	講師
2017年	9月30日(土)	青森：弘前大学	根岸雅史・堤 孝
	11月12日(日)	石川：未定(金沢開催予定)	根岸雅史・大坪克哉
	12月16日(土)	兵庫：三宮コンベンションセンター	金谷 憲・本多綾子
2018年	1月21日(日)	東京：研究社 英語センタービル	金谷 憲・根岸雅史

開催時間

13:30 ~ 17:00 ※青森開催は、14:00~17:30

定員

50名 〈主な対象〉中学校・高等学校の先生方、教育関係者

参加費

一般 **2,000円** / ELPA 会員は無料

主催・問い合わせ

NPO法人 英語運用能力評価協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-3-4 大江ビル 1階

TEL: 03-3230-0571 FAX: 03-3230-0572

MAIL: elpa@english-assessment.org HP: <http://npo-elpa.org/>



表紙について：

大王わさび農場 (長野県安曇野市)

荒地を20年にわたって開拓し、名水百選にも選ばれたきれいな湧水を生かして日本有数のわさび農場となった『大王わさび農場』。

今では観光施設も併設されて、多くの観光客で賑わっています。この写真は、大正15年に完成したわさび畑の初夏の風景です。

大王わさび農場 <http://www.daiowasabi.co.jp/>

FROM EDITORS

今年のGWも映画を見まくりました。

「美女と野獣」はアニメでもミュージカルでも見ましたが、今回の実写版は最高の出来でした。

映像の持つ可能性と表現力の豊かさには驚かされました。

「Be Our Guest」はこのシーンだけで普通大作映画が1本出来るのでは？というくらいすごかったです。本当に魔法のような映像でした。

https://www.youtube.com/watch?v=SqQvZ_VUtg8

映画の予告編には可能性を感じますね！

No.
04

ELPA Vision

2017年6月10日発行

編集人：白戸治久 編集協力：ユーフォーブックス 発行人：金谷憲

発行所：特定非営利活動法人 (NPO) 英語運用能力評価協会 (ELPA)

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-3-4 大江ビル 1階

TEL:03-3230-0571 FAX:03-3230-0572